

漫画家

あんじゅ先生
(若林杏樹)さん



もう一人はあんじゅ先生こと若林杏樹さん。元大学職員で、脱サラ後に漫画を書き始めた新進気鋭の若手漫画家。

そんなあんじゅ先生と比布町との繋がりは下の漫画にあります。

これはあんじゅ先生が自身のブログに掲載したもので、比布町を訪れた体験を漫画にし、発表したものです。その反響は大きく、この度応援大使の委嘱を打診する運びとなりました。今後委嘱式を行う予定です。詳細が決まり次第お知らせします。



プロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」が比布町に

株式会社VOREASと協力協定を締結

7月30日(月)に北海道初のプロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」の運営主体である株式会社VOREASとの協力協定調印式を行いました。



この協力協定により、比布町は株式会社VOREASに旧比布中学校を無償で貸付し、株式会社VOREASはそれをヴォレアス北海道の専用練習場、合宿所および地域住民の交流施設として改修・運用することとなります。

調印式後に中学校の具体的な活用方法について説明会が行われました。コンセプトは「つながる」となる。スポーツを通して、人と人がつながるそんな施設作

りを目指します。説明会では、具体案の一つであるダンス教室に所属する子どもたちによる演技や、ヴォレアス北海道の選手によるデモンストレーションが行われました。



また、8月7日の七夕天国に行われた玉入れにもヴォレアス北海道の選手たちが参加しました。今後、町内の様々なイベントに参加し、町民の皆さんと交流を深めていく予定です。



VOREAS INFORMATION

比布町域おこし協力隊通信 上記の協力協定締結にあわせて、株式会社VOREAS(以下ヴォレアス)と比布町との「架け橋」として、雑賀雄太さんが新たに地域おこし協力隊として着任されました。

本コラム「VOREAS IN FORMATION」(ヴォレアスインフォメーション)では、地域おこし協力隊の業務について、無償貸付した旧比布中学校の利用に関わるヴォレアスからのお知らせなどを毎月紹介いたします。第1回目は、雑賀さんについて紹介します。

1987年生まれの31歳。高校教員を務めた後、今年4月にバレーボール選手として挑戦するため単身ベルリンへ。しかし、渡独1か月でお子さんの大けがを機に帰国することとなります。その後、バレーボールを通じて知り合ったヴォレアスの池田社長の紹介で、今回の地域おこし

協力隊着任が決定。比布町へ家族と共に移住し現在に至ります。そんな雑賀さんと、バレーボールとの出会いは小学1年生まで遡ります。現役選手は高校で引退するものの、その後も色々な形でバレーボールに携わることに。そうした中で様々な人との出会い、生涯忘れられないような素晴らしい経験、多くをバレーボールから得たそうです。

雑賀さんは「バレーボールというスポーツを通じて比布町の皆様と出会うことができました。バレーボールを通じて、比布町に少しでも多くの笑顔を運んでいくことができたいと思っています。」と語りました。

8月1日に辞令交付式を行った雑賀さんの協力隊としての主な業務は比布町とヴォレアスとの橋渡し。旧比布中学校の施設整備に関わる手続きや町との調整を担います。「旧比布中学校はヴォレアス北海道の練習場や、合宿所として活用されるだけでなく、地

域住民の交流施設としても活用されます。当面は校舎の改装を進めつつ、バレーボールスクールの立ち上げなどを進め、地域に根ざした施設作りを目指します。」



雑賀雄太(さいかゆうた) 高校教員を辞めて渡独。その後比布町に移住し、比布町の地域おこし協力隊として勤務中。日々の出来事や業務に関わるお知らせをSNSで発信しています。ぜひご覧ください。

